

地元活性化探究プロジェクト

～Explore our local community and ourselves～

【 5/23 第一回探究サロン「音訳体験」 】

第一回探究サロンは、「音訳ボランティアさざなみ会」の講師3名に来ていただき、8名の生徒が市広報の音訳体験をしました。「音訳ボランティアさざなみ会」の方は、市広報の音訳だけでなく、ダビング・発送、本などの音訳図書の制作、視覚障がい者の外出サポートを行っています。以下、参加した生徒の感想です。

今回の体験を通して感じたこと。

漢字の読み方や、アクセント、読むスピードが難しいと思いました。貴重な体験ができて、楽しかったです。

音訳ボランティアという活動があると初めて知りました。

音訳・点訳は知っていたけど、実際やってみると、思っていた以上に難しく、自分の声が流れてくると恥ずかしかったです。

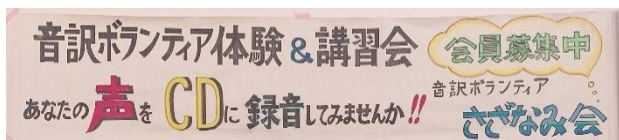
今まで知らなかったことを知れてとてもいい機会だったしこれから白杖を見かけたら気にかけてみようと思いました。

音訳はすごく大変な仕事だなと感じました。一度間違えたらなかなか直せなくて苦戦しました。

ゆっくり読む、内容が伝わるように読むことの大変さが分かった。

ちょっと緊張したけど楽しかった。視覚障がいのある方のためにこのように活動している団体があることを知り、今後も繁栄して欲しいと思った。

白杖 SOS シグナルをもっと多くの人に知ってほしいなと思った。



【考えてみよう 3.すべての人に健康と福祉を】

世界一の長寿国である日本の平均寿命は、男性で81.64歳、女性で87.74歳。しかし、自分の力で身体を動かして生活ができる「健康な期間」は残念ながら他国と比べて長いとは言えません。「不健康な期間」が延びたことで、国民医療費は1988年の18兆円から2018年には43兆3,848億円に増加。皆さんが健康寿命を延ばすために、今からできることは何でしょう。環境、社会、経済、文化の側面からできる手立てを考えてみよう！！

～東海三県訪問看護 99%プロジェクト～

東海三県でどこに住んでも訪問看護のサービスが受けられ、誰もが暮らしたい場所で生活できる地域を作ることを目指しています。アクションリーダーの市橋亮一さんは、名古屋大学医学部卒業、土岐市立総合病院で研修後、名古屋大学医学部付属病院などで勤務。その後「総合在宅医療クリニック」を開設。一人ひとりの患者さんの想いや希望を大切に、地域医療の支援に力を入れています。気になる人はチェック！！！！

